



第3日曜の朝は コーヒータイム

第99号 2015年2月

熊日大津北販売センター
発行人 小西 勇志
菊池郡大津町室78番地
TEL 096-293-2215
フリーダイヤル
0120-830-215

日本の伝統楽器「箏(こと)」に触れよう

大津北小学校4、5年生



皆越先生の演奏にじっと聞き入る子どもたち。



2月5日、大津北小学校(佐賀文男校長)にて、4、5年生合同で箏の演奏体験授業が行われました。
※箏とは一般的に「こと」と呼ばれ、「琴」の字を当てることもありますが、「箏」と「琴」は別の楽器です。最大の違いは、箏は柱(じ)と呼ばれる可動式の支柱で弦の音程を調節するのに対し、琴は柱が無く弦を押さえる場所で音程を決めます。(Wikipediaより抜粋)

4年生担任の堤先生が企画したもので、大津町在住の皆越具子さん(楽善)を講師に招き、子どもたちに体験してもらう箏を(株)全音楽譜出版社の協力のもと用意しました。用意された箏は「文化箏」で、従来の6尺箏の約半分のサイズ(86センチ)です。子どもでも弾きやすく持ち運びにも便利な箏です。基本的に爪を親指、人差し指、中指の3本の指の腹側にはめて演奏します。初めて箏に触るという子どもがほとんどで講師の皆越さんが一人一人丁寧に教えていました。

最後に子どもたちから「最初は簡単そうだなと思ったけど難しかった」「爪をつけて弦を弾く時に強く弾かないと音が鳴らないと分かった」「後からだんだん慣れて、弾けたのがとても嬉しかった」「とてもきれいな音色で、また弾きたいと思った」などの感想が聞かれました。



◎皆越先生が優しく指導します。子どもたちは箏に興味津々!

